

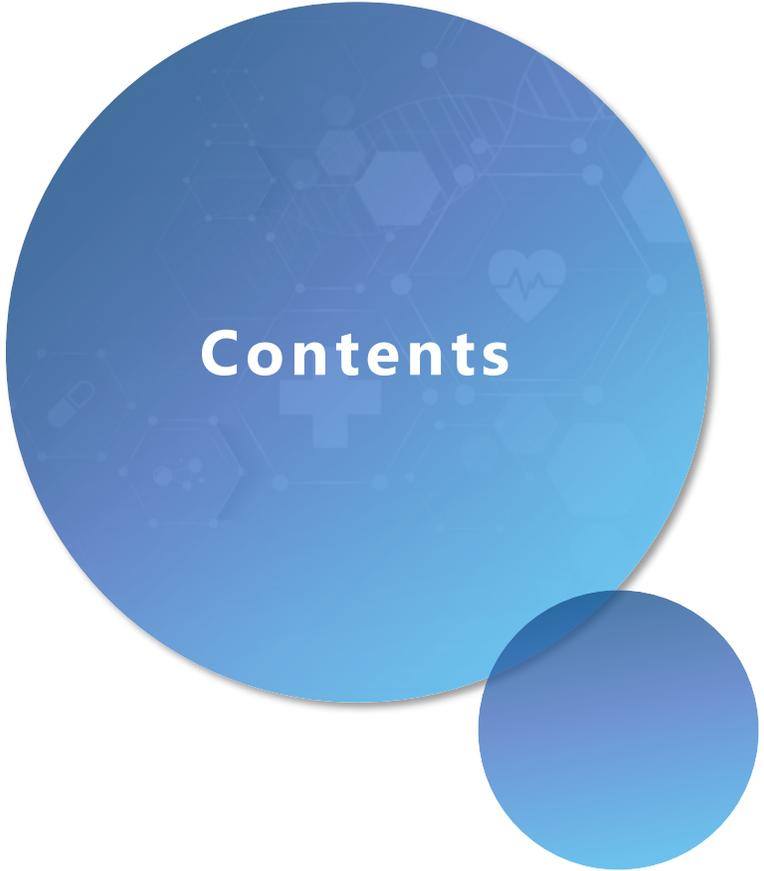


2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社リグア
東証グロース（7090）

2023年8月

- 1. 決算概要 2024年3月期第1四半期**
2. 見通し 2024年3月期
3. 市場環境
4. 当社の強みと成長戦略
5. Appendix



Contents

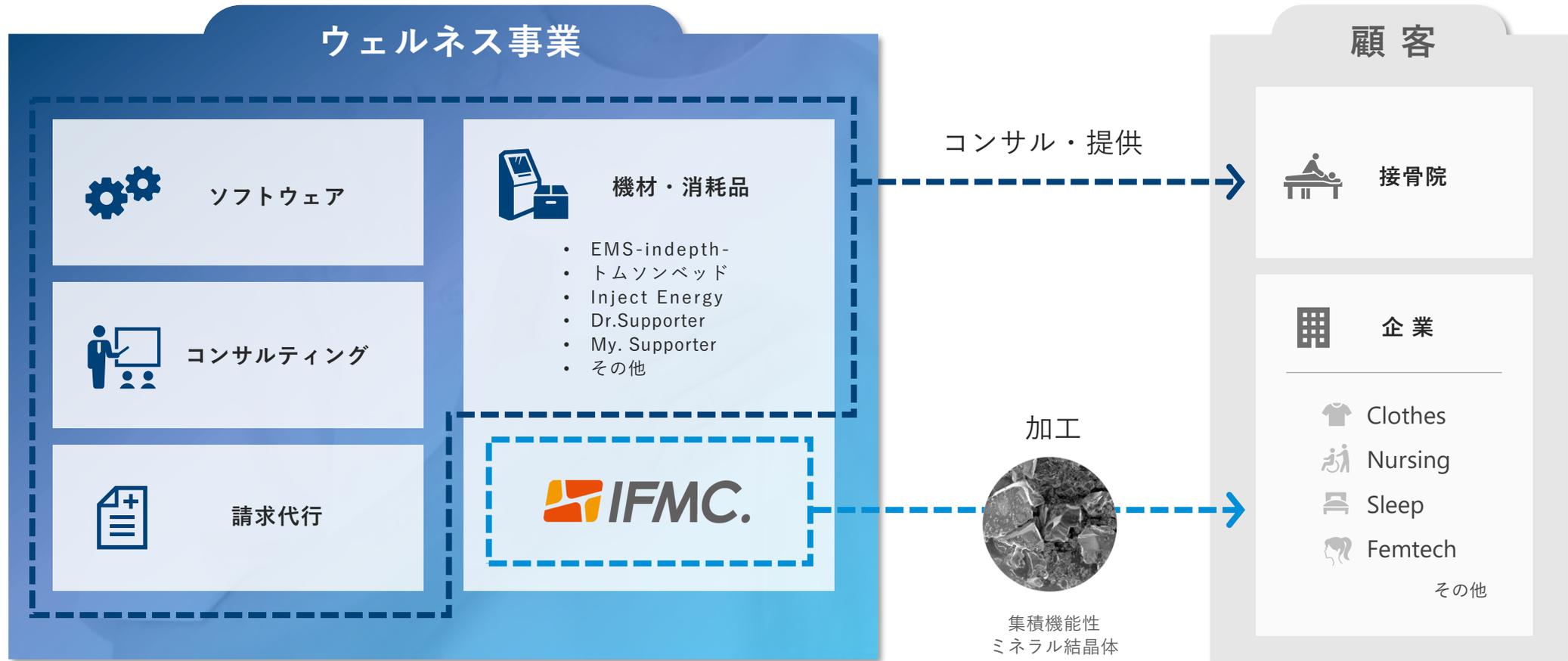
セグメント名変更について

事業内容をより明確に表現することを目的として、セグメント名称を変更いたします。



セグメント名変更について

これまでは、全国の接骨院が当社グループのメインの顧客層でしたが、
これからは、IFMCを通じて幅広い顧客層に当社グループのサービスを提供し、
誰もが心から豊かで前向きになる『Wellness Life』が溢れる社会を実現していきます。



決算ハイライト

| (百万円) | 売上高 | EBITDA | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 |
|---------------|--------|--------|------|------|---------------------|
| 2024/3期 1Q | 767 | △16 | △56 | △72 | △85 |
| 2023/3期 1Q | 577 | △141 | △199 | △202 | △146 |
| 増減率 | +32.8% | - | - | - | - |

業績概要

- 前期に業績が悪化したウェルネス事業の業績回復を受け、前年同期比では増収増益。
(前期の業績悪化の最大要因であった主要機材等の販売在庫は確保できる見通し)
- 当1Qにおいては、販売管理費が吸収できず営業損失を計上。
- 今期2Q以降のさらなる業績回復に向けて取り組んでまいります。

連結損益計算書

- ・ ウェルネス事業の業績回復により、前年同期比では増収増益。
- ・ 当1Qでは営業損失となりましたが、今期2Q以降のさらなる業績回復に向けて取り組んでまいります。

| (百万円) | 2023/3期 1Q | 2024/3期 1Q | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|------------|------------|----------|--------|
| 売上高 | 577 | 767 | +189 | +32.8% |
| EBITDA | △141 | △16 | +124 | - |
| 売上原価 | 330 | 381 | +50 | +15.3% |
| 原価率 | 57.2% | 49.7% | △7.5ppt | - |
| 売上総利益 | 247 | 385 | +138 | +56.2% |
| 販管費 | 446 | 442 | △4 | △1.0% |
| 営業利益 | △199 | △56 | +143 | - |
| 営業利益率 | △34.5% | △7.4% | +27.1ppt | - |
| 経常利益 | △202 | △72 | +129 | - |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | △146 | △85 | +60 | - |

セグメント別実績

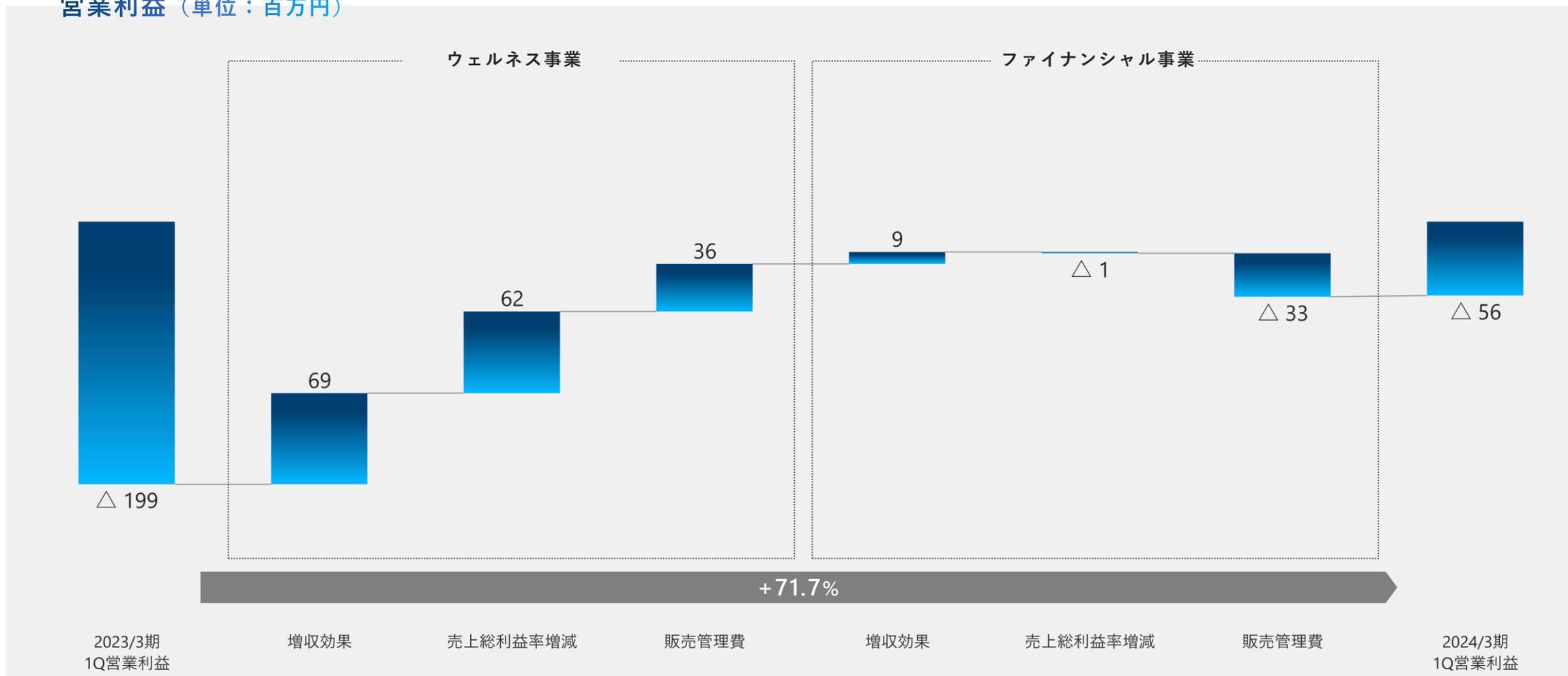
- ・ ウェルネス事業は、業績回復により前年同期比では増収増益。
- ・ ファイナンシャル事業は、売上高は前年同期比で微増となったものの、販売管理費の増加により減益。

| (百万円) | 2023/3期 1Q | 2024/3期 1Q | 増減額 | 増減率 |
|------------|------------|------------|------|--------|
| 売上高 | 577 | 767 | +189 | +32.8% |
| ウェルネス事業 | 394 | 581 | +187 | +47.6% |
| ファイナンシャル事業 | 183 | 185 | +1 | +1.0% |
| EBITDA | △141 | △16 | +124 | - |
| ウェルネス事業 | △133 | 16 | +149 | - |
| ファイナンシャル事業 | △7 | △32 | △24 | - |
| 営業利益 | △199 | △56 | +143 | - |
| ウェルネス事業 | △191 | △22 | +168 | - |
| ファイナンシャル事業 | △8 | △33 | △25 | - |

営業利益 増減要因 / 前年同期比較

- ・ ウェルネス事業は、業績回復により前年同期比では各項目数値が改善。
- ・ ファイナンス事業は、販売管理費の増加が減益要因に。

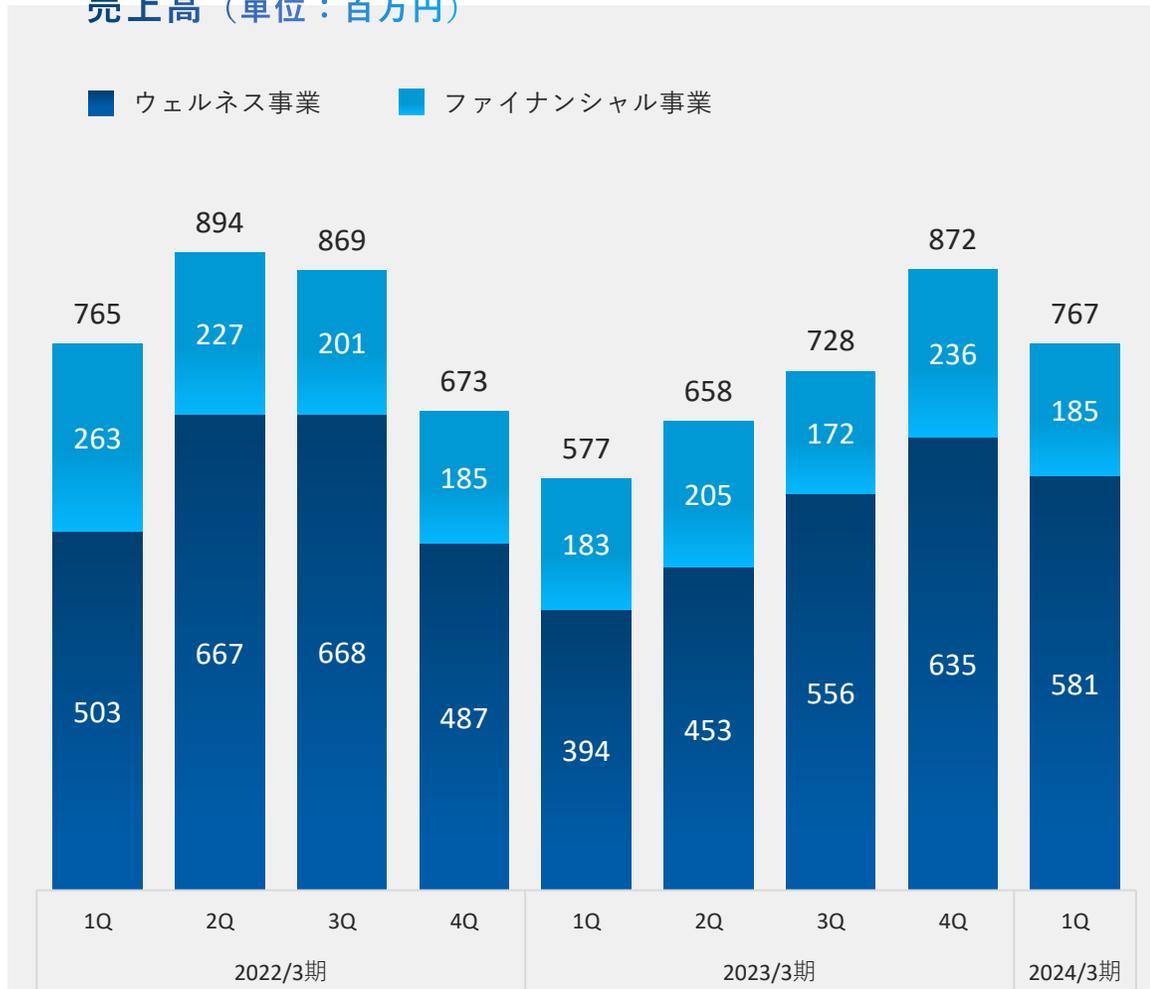
営業利益（単位：百万円）



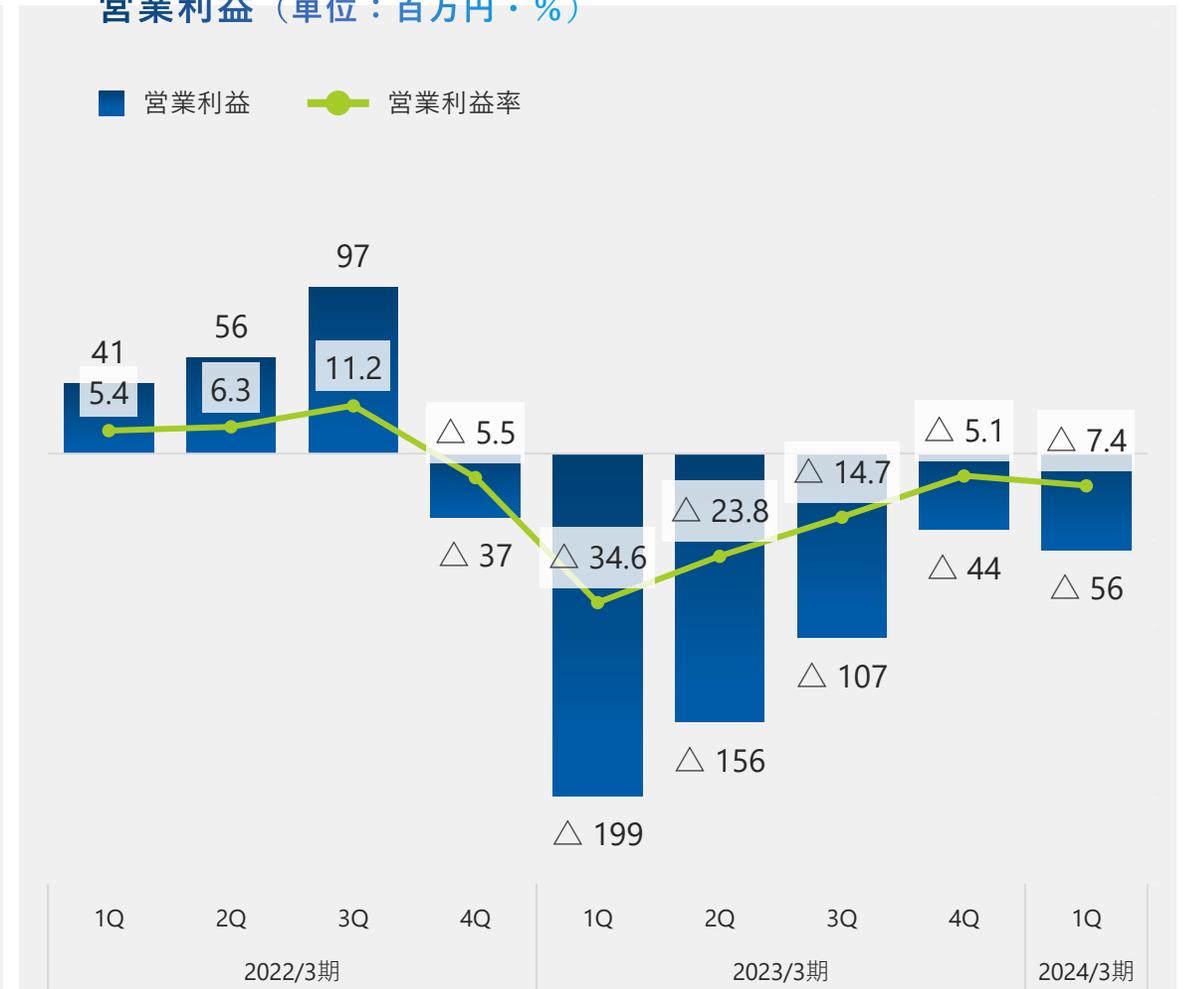
連結 四半期推移

- ・連結売上高は、前々期の水準まで回復したものの、販売管理費を吸収できず営業損失を計上。
- ・ウェルネス事業では、第1四半期としては過去最高の売上高を記録。

売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円・%）

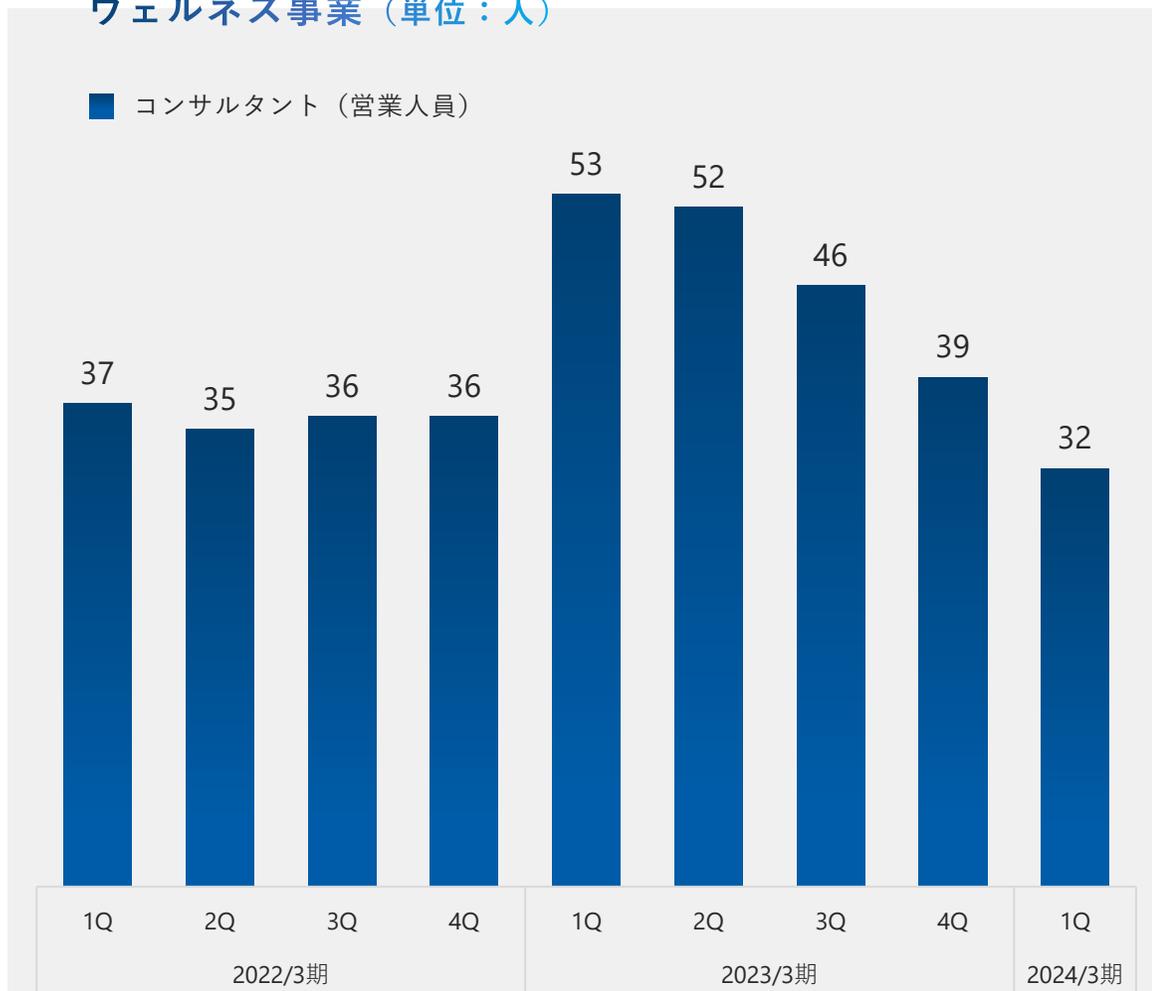


人員数 四半期推移

- ・ ウェルネス事業は、退職や社内異動により営業人員が減少。引き続き営業人員の育成に注力。
- ・ ファイナンシャル事業は、他社への移籍や廃業により、委託IFA数が減少。

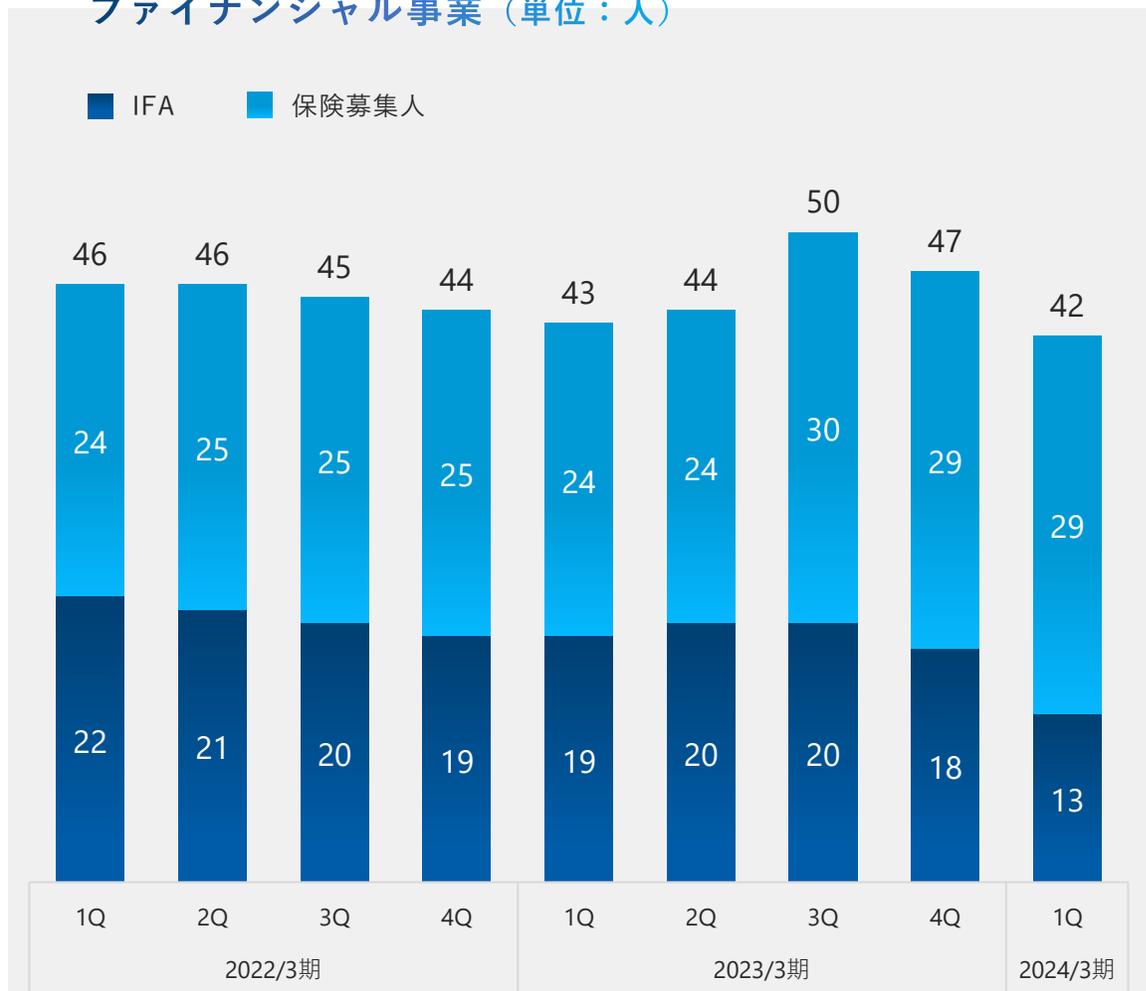
ウェルネス事業（単位：人）

■ コンサルタント（営業人員）



ファイナンシャル事業（単位：人）

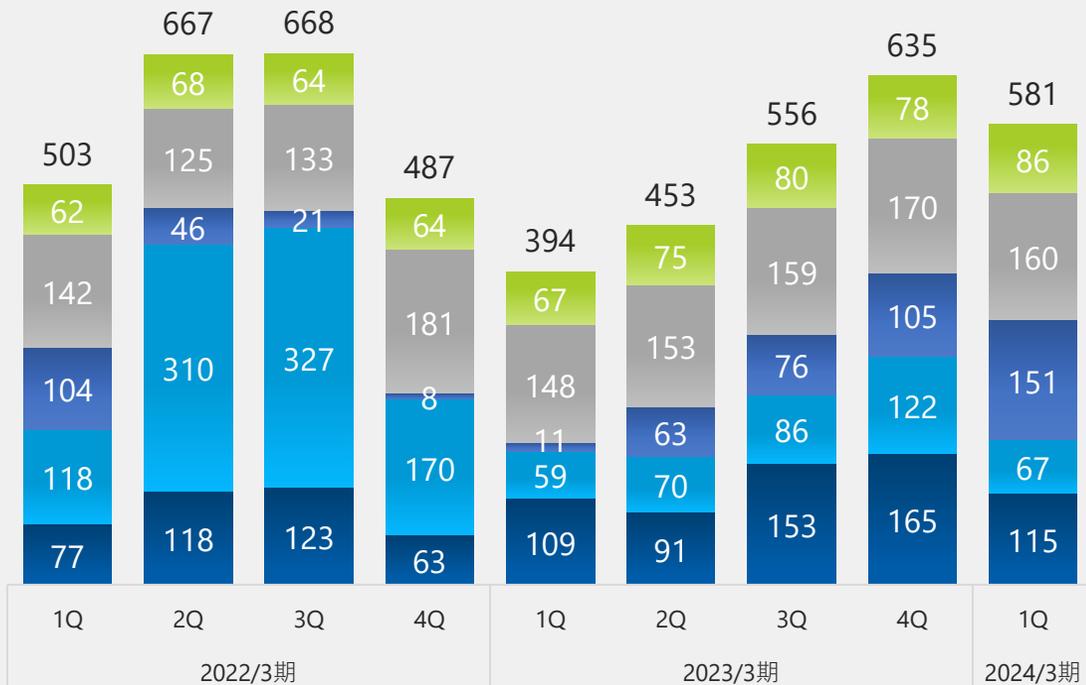
■ IFA ■ 保険募集人



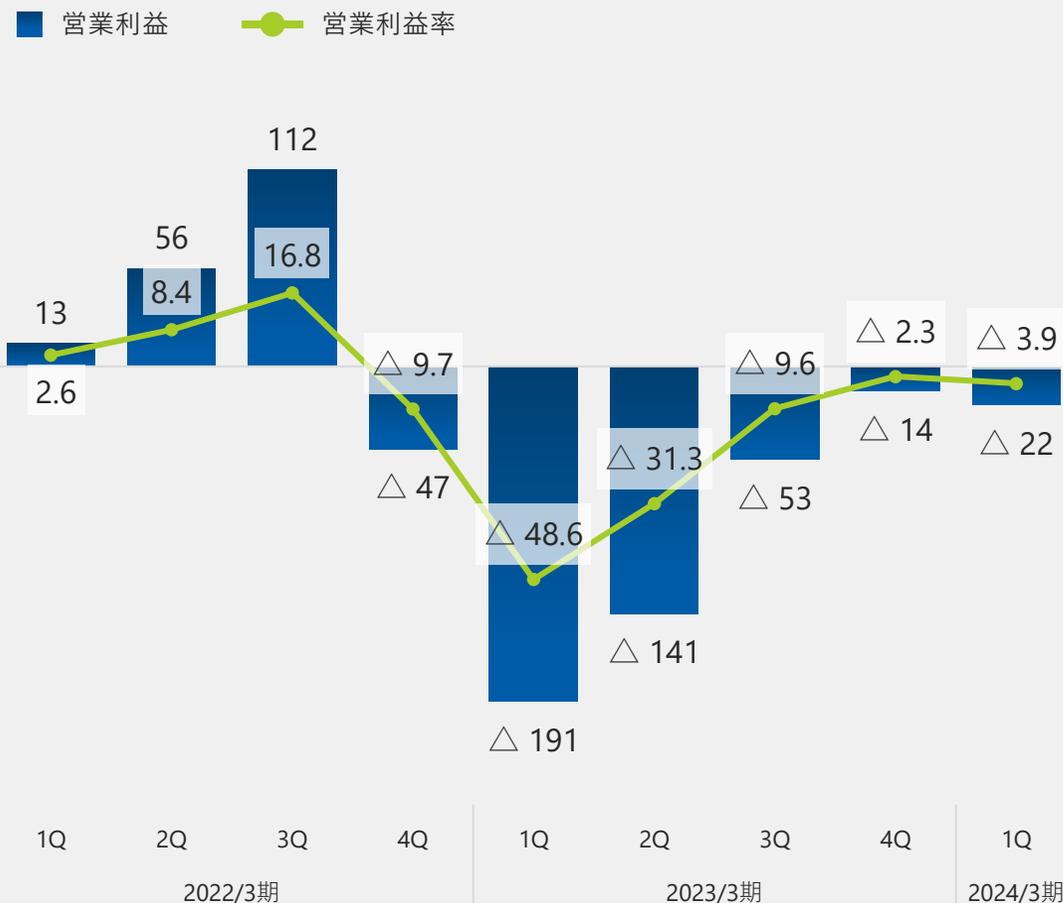
ウェルネス事業 四半期推移

- ・ 前期から販売強化に取り組んでいるDr.Supporterの売上高が順調に増加。
- ・ 2Q以降のさらなる業績回復に向け、各カテゴリの営業活動に引き続き注力。

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円・%)



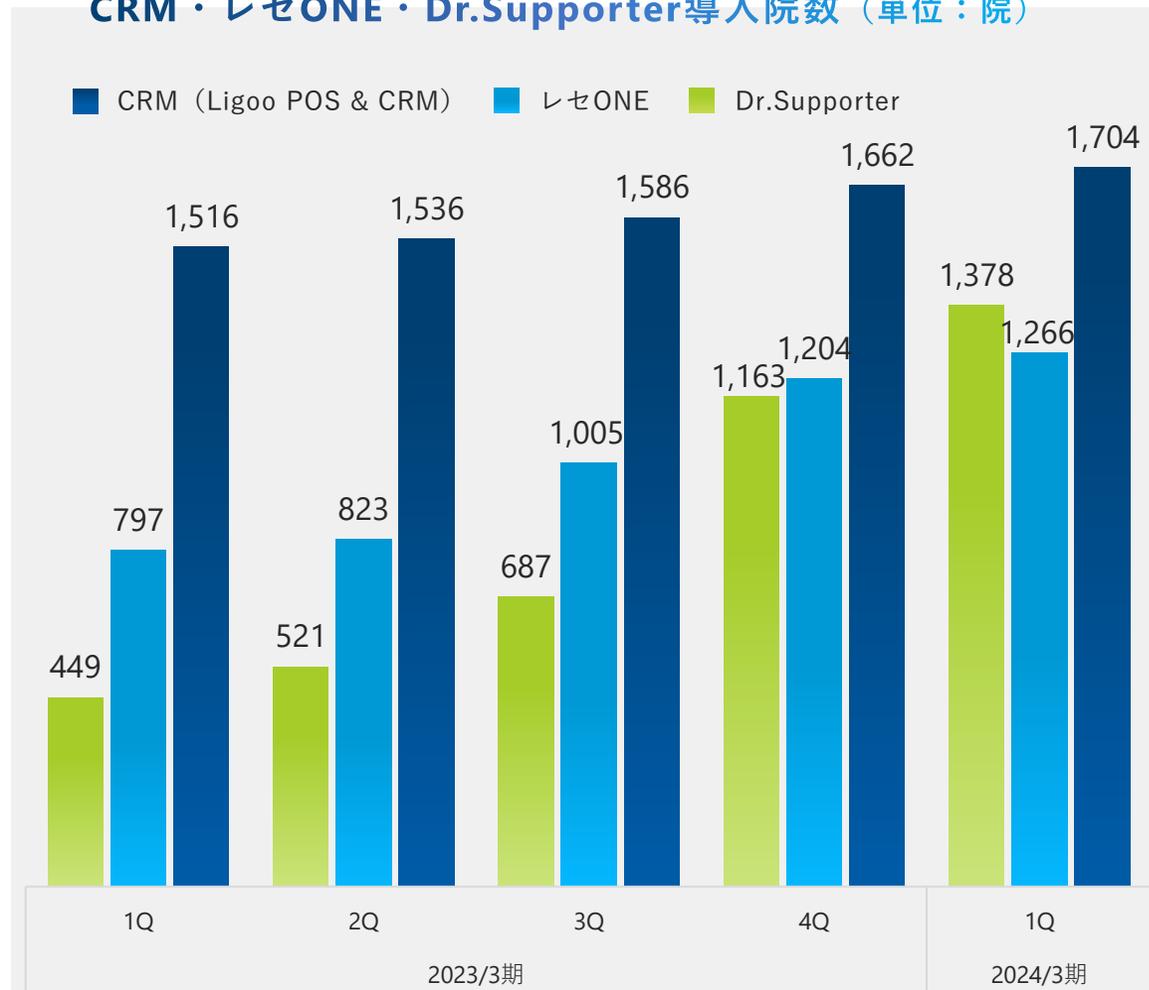
ウェルネス事業 四半期KPI推移

- ・取引実績接骨院数の増加に向けた新規開拓は今後も注力する方針。
- ・Dr.Supporterの販売強化に引き続き注力する方針。

取引実績のある接骨院数 (単位: 院)



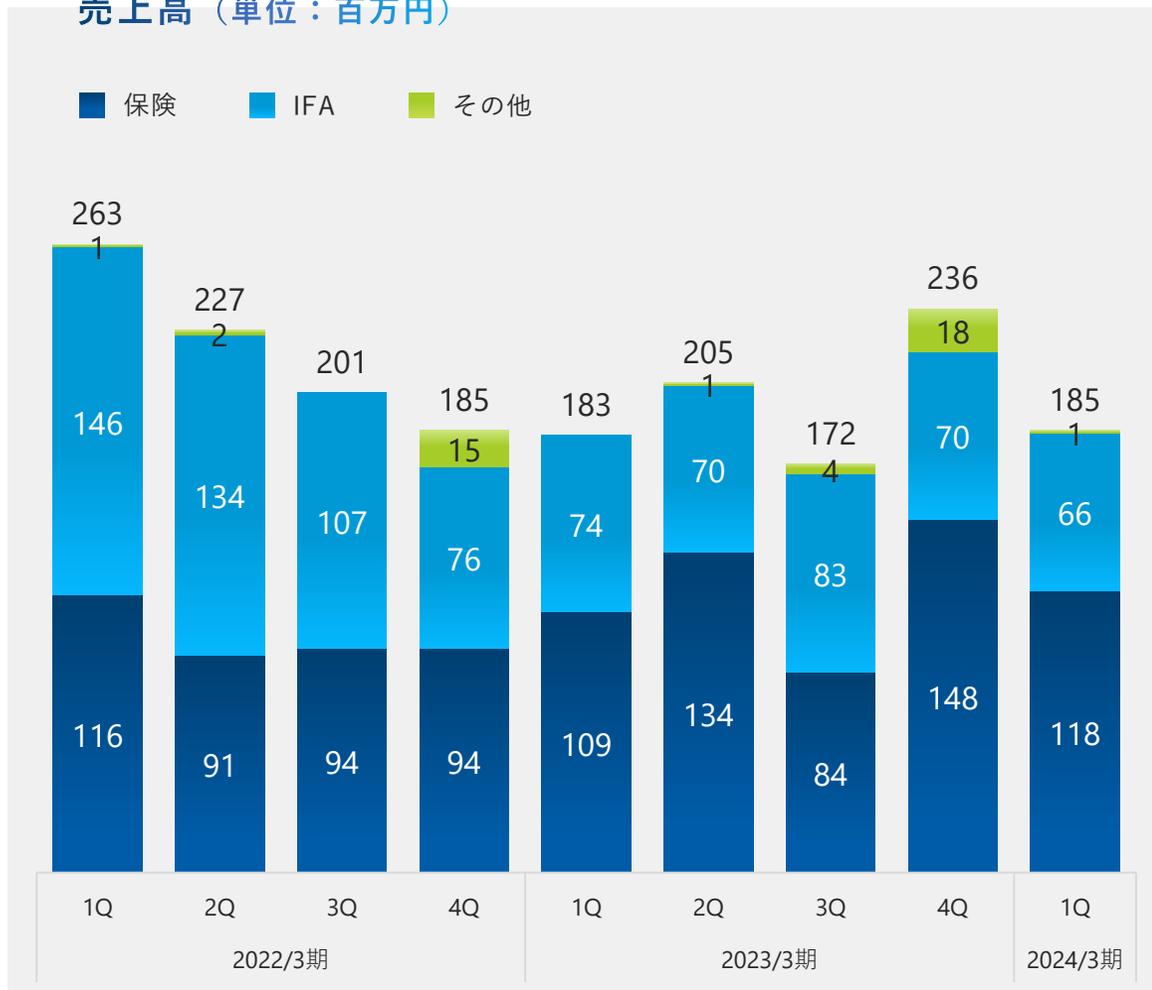
CRM・レセONE・Dr.Supporter導入院数 (単位: 院)



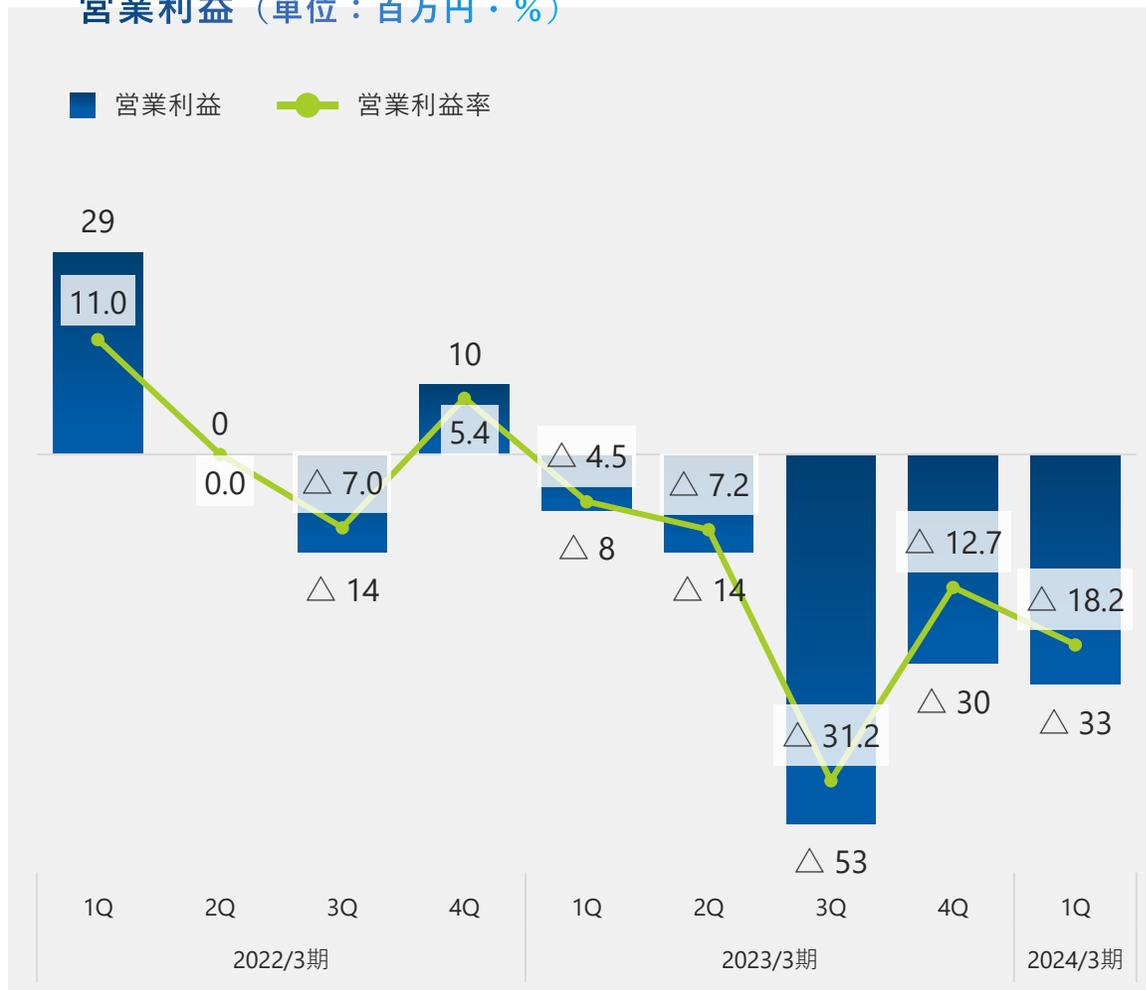
ファイナンシャル事業 四半期推移

- ・ 保険は、単価の変動はあるものの、安定的な売上推移を継続中。
- ・ IFAは、社内体制の強化かつ独自性のある安定的な収益モデルに移行中。

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円・%)



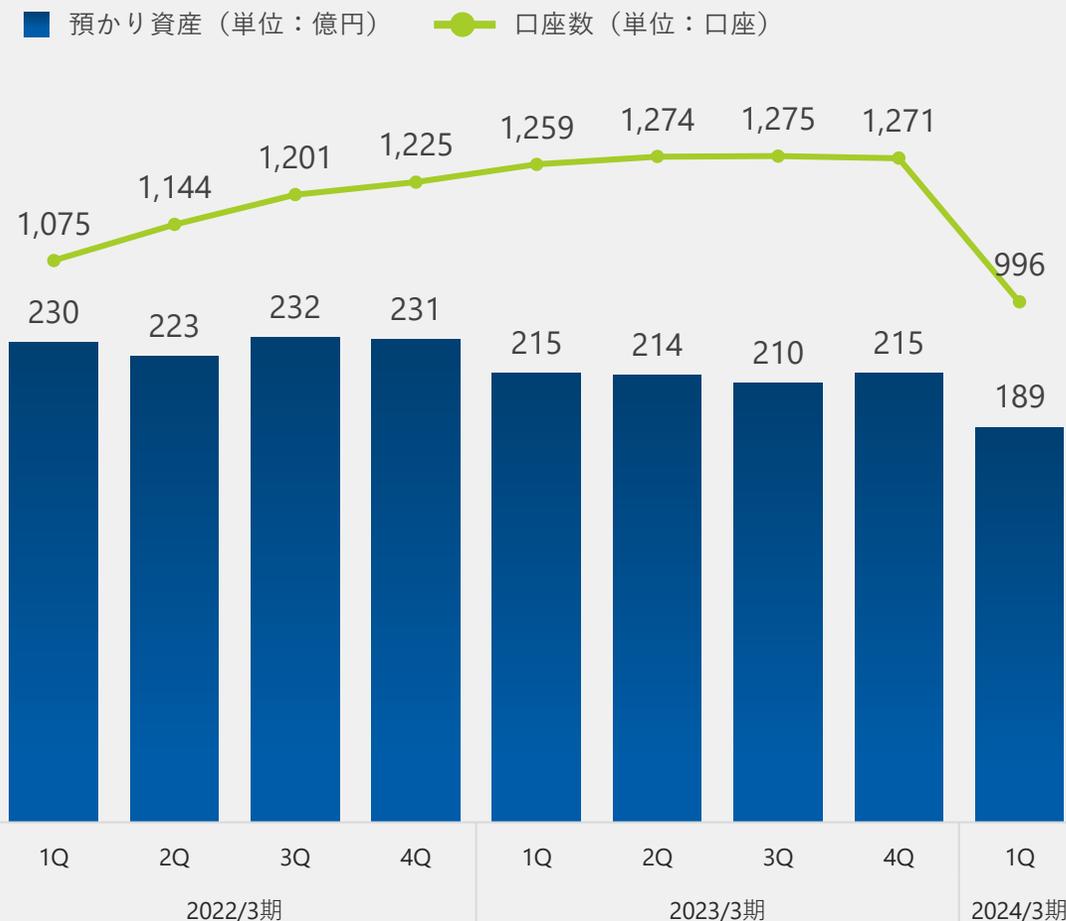
ファイナンシャル事業 四半期KPI推移

- ・ 保険は、新規契約者数が安定的な推移を継続中。
- ・ IFAは、委託IFA数の減少に伴い、預かり資産、管理口座数が減少。

保険 KPI推移



IFA KPI推移



※ANP： お客様が支払う保険料のうち、年払いや一括払い等支払方法の違いを調整し、1年あたりの金額に換算した数値

貸借対照表サマリー

- ・「療養費早期支払サービス事業」の利用増加により、営業貸付金および有利子負債が増加。
- ・当1Qの当期純損失により、純資産が減少。

| (百万円) | 2023/3期末 | (%) | 2024/3期 1Q末 | (%) | 増減 |
|--------------|----------|---------|-------------|---------|------|
| 流動資産 | 2,562 | (76.0) | 2,710 | (78.3) | +147 |
| 現預金 | 1,172 | (34.7) | 1,120 | (32.4) | △52 |
| 売掛金 営業貸付金 | 730 | (21.6) | 872 | (25.2) | +142 |
| その他 | 659 | (19.5) | 716 | (20.7) | +57 |
| 固定資産 | 810 | (24.0) | 751 | (21.7) | △59 |
| 総資産 | 3,373 | (100.0) | 3,461 | (100.0) | +87 |
| 負債 | 3,020 | (89.5) | 3,194 | (92.3) | +173 |
| 有利子負債 | 2,260 | (67.0) | 2,387 | (69.0) | +127 |
| その他 | 760 | (22.5) | 806 | (23.3) | +45 |
| 純資産 | 353 | (10.5) | 267 | (7.7) | △85 |
| 負債・純資産合計 | 3,373 | (100.0) | 3,461 | (100.0) | +87 |

1. 決算概要 2024年3月期第1四半期
2. **TOPICS**と見通し
3. 市場環境
4. 当社の強みと成長戦略
5. Appendix



Contents

2024年3月期 TOPICS・ハイライト (2023年8月8日時点)

| リリース日 | 該当四半期 | タイトル | 詳細 |
|-------|-------|-------------------------------|------------------------------------|
| 4月13日 | 1Q | 国内最大級のアパレル業界向け展示会に初出展 | 2023年3月期決算説明資料 P22 |
| 4月14日 | 1Q | 健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）に3年連続認定 | 別途資料 |
| 4月25日 | 1Q | 京都大学との共同研究開始に関するお知らせ | P27 |
| 7月7日 | 2Q | 【IFMC.】3社コラボ商品 期間限定販売のお知らせ | 別途資料 |
| 7月11日 | 2Q | 譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に関するお知らせ | 別途資料 |
| 8月8日 | 2Q | 報告セグメントの名称変更に関するお知らせ | P3・4 |

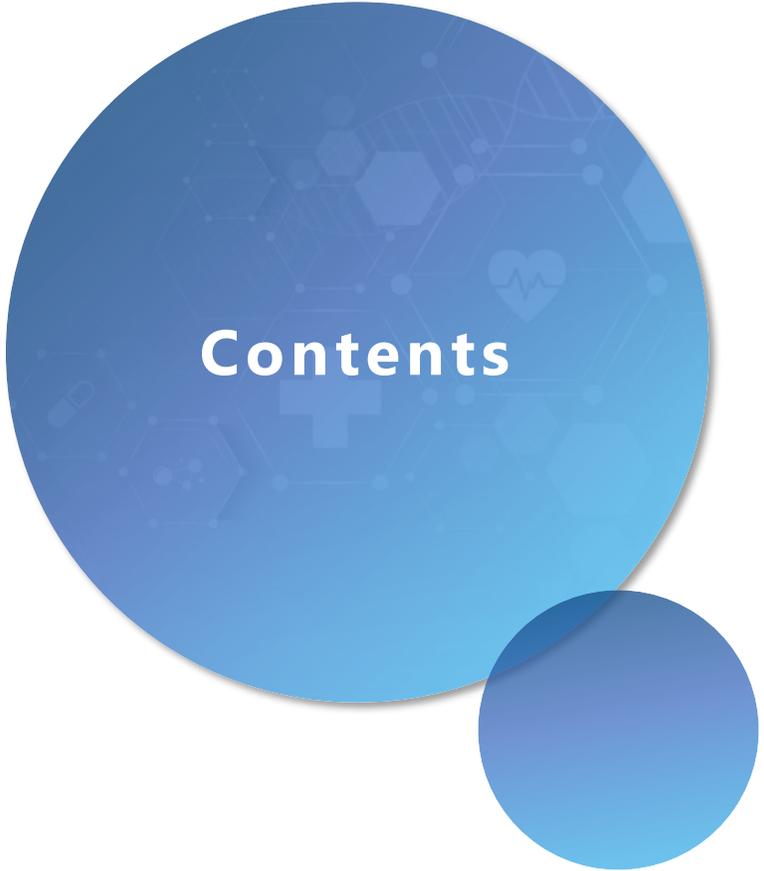
通期業績予想

| | 売上高 | EBITDA | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期純利益 |
|---------------------------|-------|--------|------|------|---------------------|
| 業績予想 2024年3月期 (百万円) | 3,567 | 333 | 170 | 150 | 90 |
| 実績 2023年3月期 (百万円) | 2,837 | △258 | △508 | △527 | △774 |
| 増減率 | 25.7% | - | - | - | - |

2024/3期の黒字回復に向け、以下の取り組みを実践いたします。

- 前期の業績悪化の最大要因であった主要機材の仕入状況は回復見込（販売在庫の確保）。
- IFMC.関連商品（Dr.Supporter等の物販、IFMC.社における他社とのコラボ）の積極的な展開。
- 新たなコンサルティングメニューのリリースと新たなマーケット（歯科等の隣接業界）への展開。
- 2023/3期末に行った減損処理およびその他経費削減による販売管理費の圧縮。
- ファイナンシャル事業における安定収益の確保およびM&A仲介等の財務コンサルティングの強化。

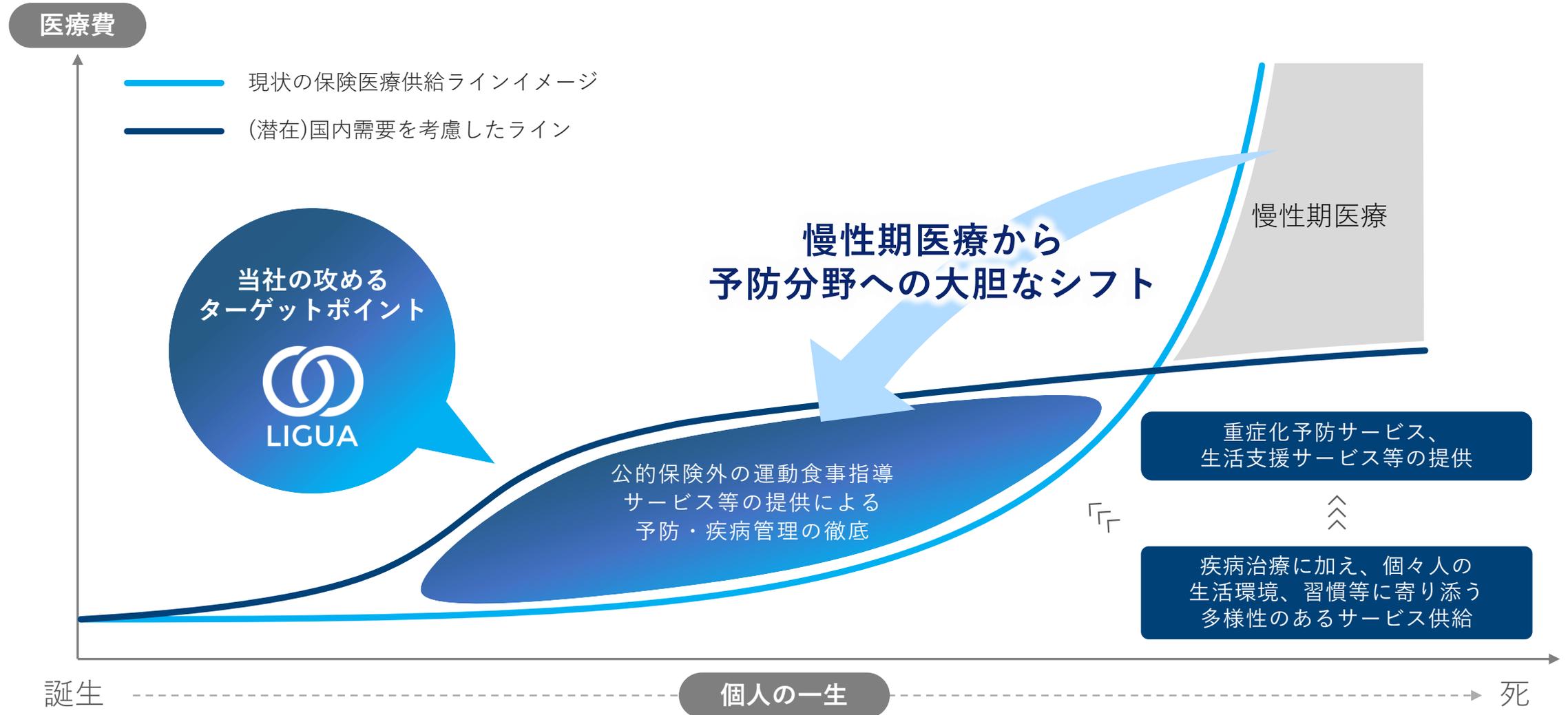
1. 決算概要 2024年3月期第1四半期
2. 見通し 2024年3月期
- 3. 市場環境**
4. 当社の強みと成長戦略
5. Appendix



Contents

予防分野への政策シフト

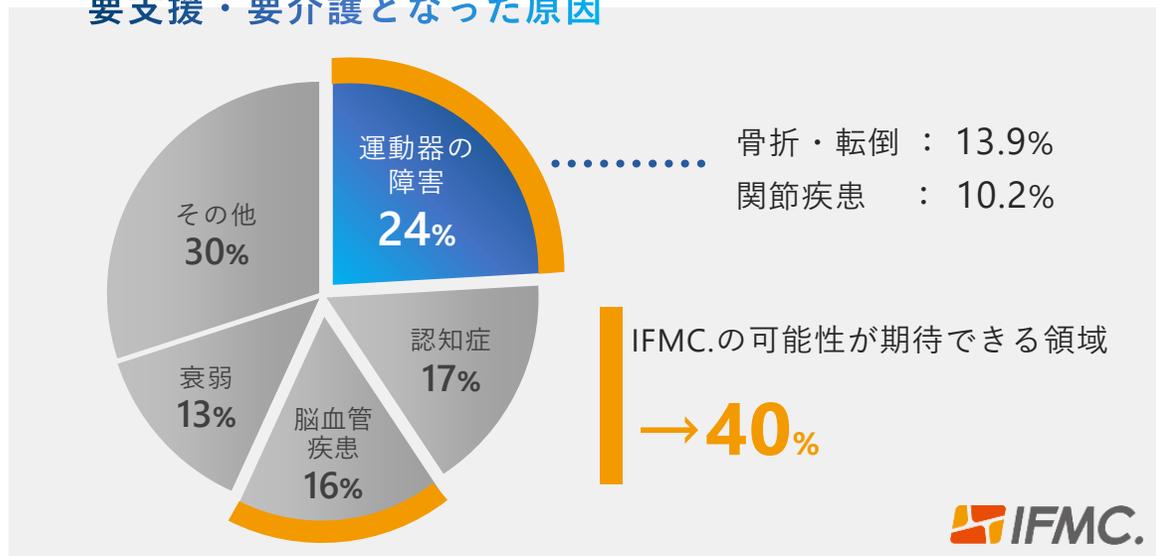
ヘルスケアにおける日本の政策



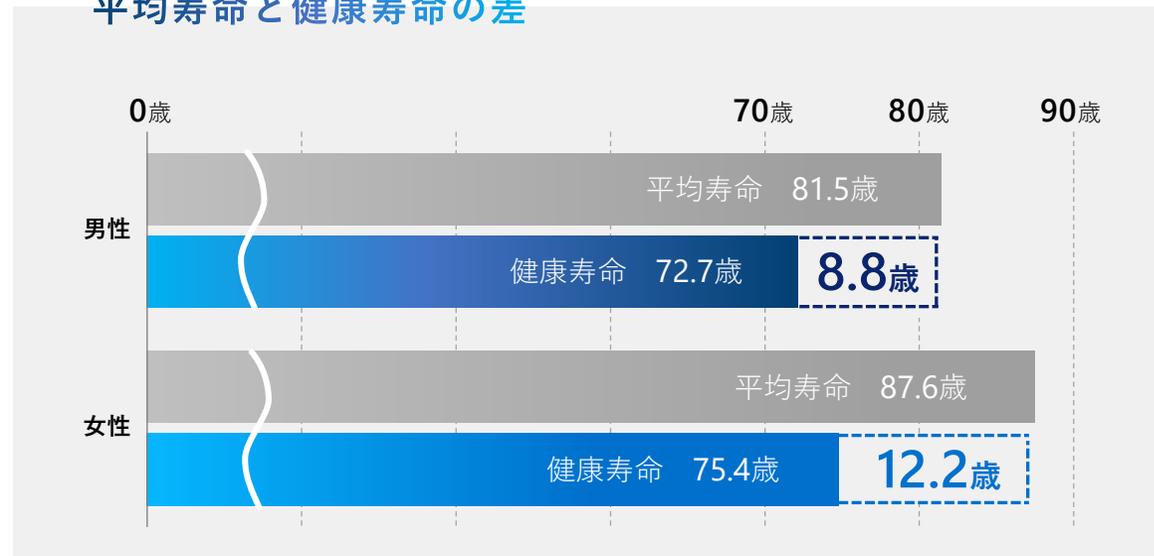
出所：経済産業省「日本の魅力を生かした新たな価値創造産業の創出に向けて」

予防分野の強化の重要性

要支援・要介護となった原因



平均寿命と健康寿命の差



出所：厚生労働省「令和3年簡易生命表の概況」「健康寿命の令和元年値について」「2022（令和4）年 国民生活基礎調査」※運動器の障害は「骨折・転倒」「関節疾患」の合計値

生涯医療費の年代区分

| | 生涯医療費 | 70歳未満 | 70歳以上 |
|-----|---------|---------------|---------------|
| 男女計 | 2,695万円 | 1,331万円 (49%) | 1,364万円 (51%) |
| 男性 | 2,614万円 | 1,360万円 (52%) | 1,254万円 (48%) |
| 女性 | 2,781万円 | 1,301万円 (47%) | 1,480万円 (53%) |

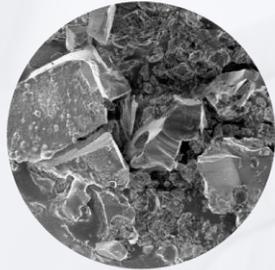
出所：厚生労働省「医療保険に関する基礎資料～令和2年度の医療費等の状況～」

1. 決算概要 2024年3月期第1四半期
2. 見通し 2024年3月期
3. 市場環境
- 4. 当社の強みと成長戦略**
5. Appendix



Contents

1. 新たな市場への参入



IFMC.

集積機能性ミネラル結晶体

- ・ 大手企業が提供している製品にIFMC.効果をプラス
- ・ IFMC.の使用料等によりストック収益の増加を図る

2. 自社商品の開発



- ・ 新たな製品やメニューの開発、既存製品の性能アップ
- ・ 顧客満足度の向上とストック収益の増加を図る

1. 新たな市場への参入

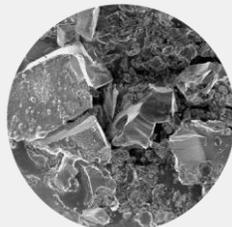
2022年10月に株式会社テイコク製薬社と合併で株式会社IFMC.を設立。
IFMC.を活用した製品の開発や販売、研究を行う。

IFMC.の沿革

- 2016年 テイコク製薬社 総合研究所を設立
- 2017年 IFMC. (イフミック：集積機能性ミネラル結晶体) を発見
- 2019年 3つの項目で特許を取得
- 2020年 IFMC.商品が一般医療機器として受理される
- 2022年 テイコク製薬社とリグアで株式会社IFMC.を設立

IFMC.とは

テイコク製薬社が温泉療法に着眼して製造したナノメーターレベルの非常に微小なミネラルの結晶体。薬やサプリメントのように服用する必要がなく、身体に**近接させる**ことで血中の一酸化窒素 (NO) が拡散し、血管拡張による**血行促進効果**が期待できる。



IFMC.
集積機能性
ミネラル結晶体

効果・効能

血行促進、疲労回復、筋肉の疲れ・こりの緩和、神経痛・関節痛、筋肉痛の緩和、体幹の安定など、さまざまな効果が期待できる。



製品ラインナップ一例



1. 新たな市場への参入

“触れるだけ”で血行促進効果のあるIFMC. を様々な製品に加工することで、『世界を健康に変えていく』。

IFMC.製品に関わる企業・組織

株式会社IFMC.

LIGUA
販売、商品開発

IFMC.

ダイコク製薬社
特許、研究

IFMC.の提供



使用料の支払い



Clothes

×

IFMC.



Nursing

×

IFMC.

CHANGE to
WELLNESS LIFE

世界を健康に変えていく



Sleep

×

IFMC.



Femtech その他...

×

IFMC.

1. 新たな市場への参入

京都大学との共同研究に関するお知らせ（2023年4月25日リリース）



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

×

 IFMC.

京都大学 大学院 生命科学研究科と【IFMC.】の共同研究を開始。

研究代表者

京都大学大学院生命科学研究科教授 垣塚 彰氏

共同研究の目的

IFMC.の生体に対する生理活性効果の機序解明と応用・実用化の可能性の探究

2. 自社商品の開発

当社グループの提供サービスに「健康」メニューを追加。
多くの人々にサービスを届けられるよう、様々なメニューを開発。



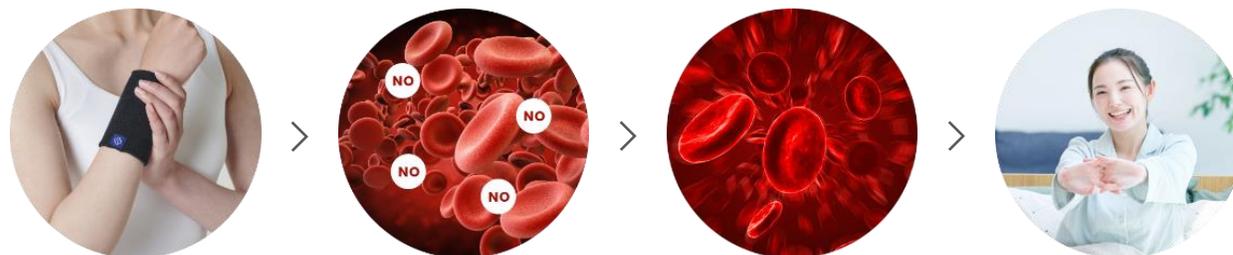
2. 自社商品の開発 (Dr.Supporter)

血行促進や疲労回復、体幹安定や神経痛の緩和等の使用効果が期待できる製品を開発。
身に着けるだけで効果があるため、普段の生活に手軽に取り入れることが可能。



血行を促進して日常をケアするヘルスケアブランド「Dr.Supporter」

温泉由来のミネラル結晶体が**血中一酸化窒素**に作用して血行を促進。
疲労緩和、筋肉の疲れやこりの緩和等の使用効果（一般医療機器）



製品を身につける

血中一酸化窒素
の増加

血管が拡張することで
血行促進

血行促進による
疲労回復やこりの緩和

一酸化窒素 (NO) について



心臓と血管の健康に
欠かせない物質



血管の筋肉に柔軟性を与えて
血管面積を押し広げて、
血流の流れをスムーズにする



血管内のコレステロール体積を
縮めて血栓の発現を抑える

2. 自社商品の開発（My.Supporter）

軽い使い心地でしっかりうるおい、健やかな身体に。ボディケア、フェイスクケアに。



About

うるおい、めぐる、ボディクリーム

「My.Supporter」ミネラルケアクリーム

Feature

温泉水に含まれたナノメートルレベルのミネラル、**IFMC.**（イフミック：集積機能性ミネラル結晶体）が
手軽なボディケアをサポートする、保湿・マッサージクリームです。



温泉のミネラルが全身をケア



もっと手軽に、シチュエーション
を選ばないケア商品

2. 自社商品の開発（サービスメニュー）

IFMC.を利用した製品を使用し、多くの患者様が悩みを抱える「冷え性」が改善できる『血流改善プログラム』を開発。安定売上の獲得や患者様との継続的な関係性が構築できることを重視。

売上アップのポイント

施術×専用ケアアイテムで
冷え性の改善をサポート



ご自宅でもケアできる
専用アイテムを販売

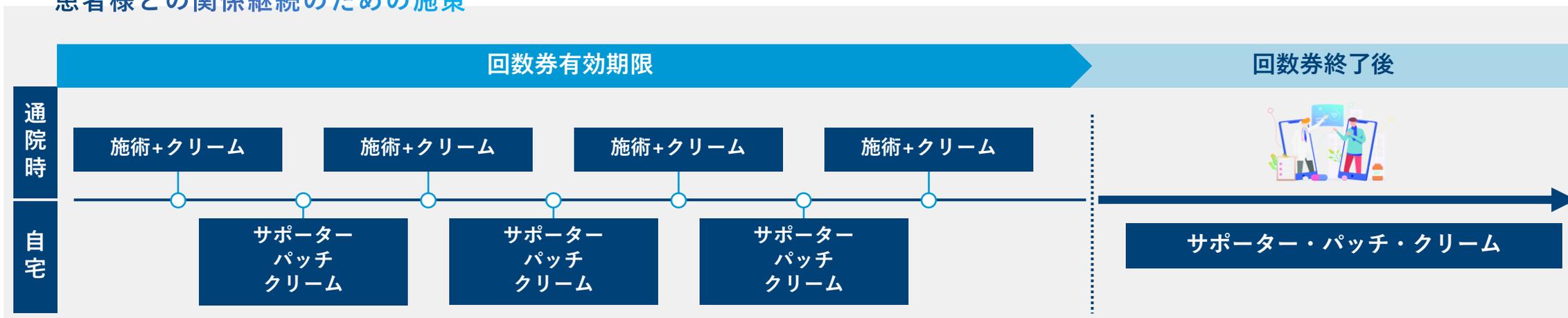


初回入荷分
30,000個
完売！

ケアアイテムで患者様との
繋がりを継続



患者様との関係継続のための施策



1. 決算概要 2024年3月期第1四半期
2. 見通し 2024年3月期
3. 市場環境
4. 当社の強みと成長戦略
5. **Appendix**



Contents

BRAND PURPOSE
ブランドパーパス

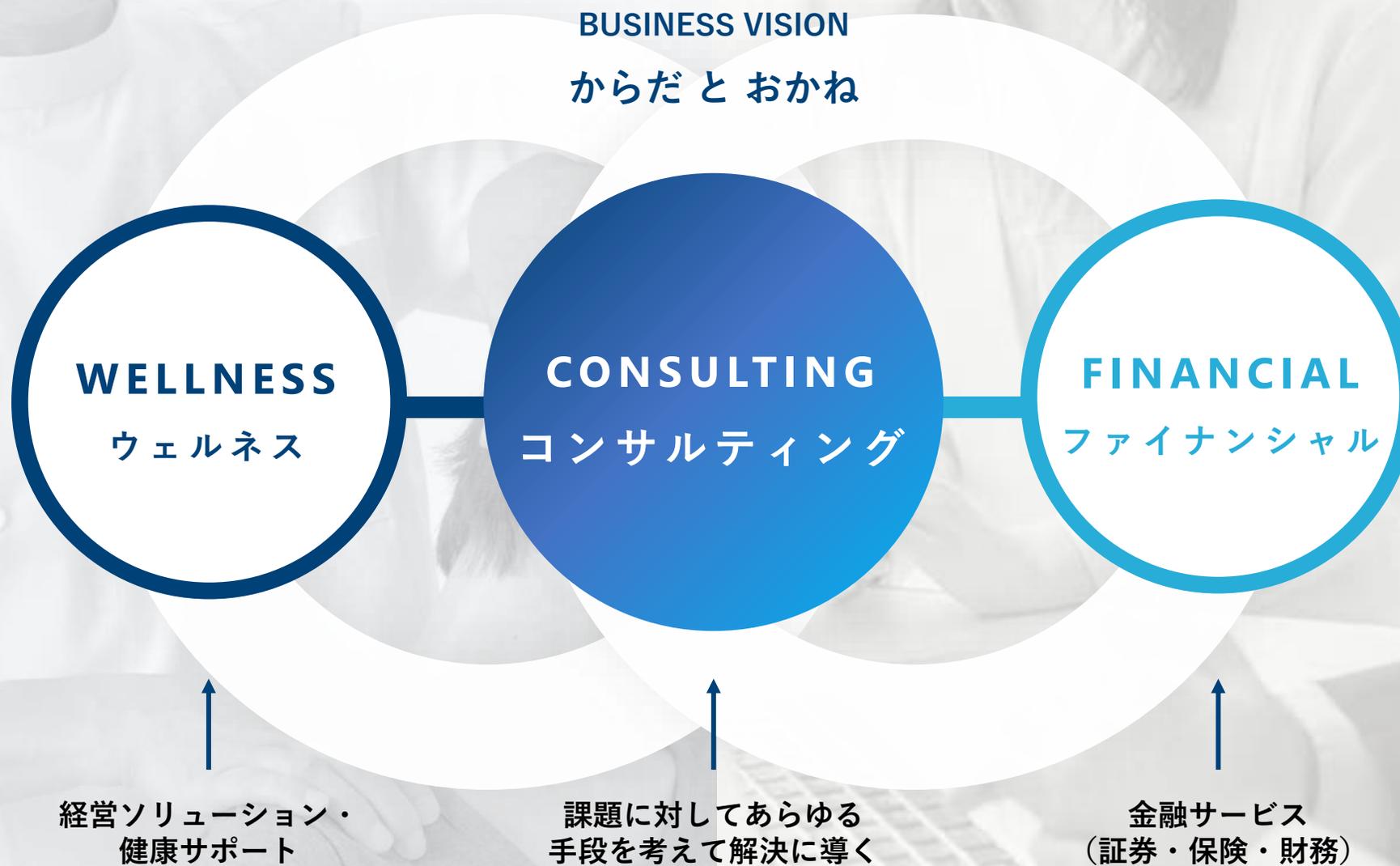
DESIGNING WELLNESS LIFE

人生から不安をなくし、生きるをサポートする。

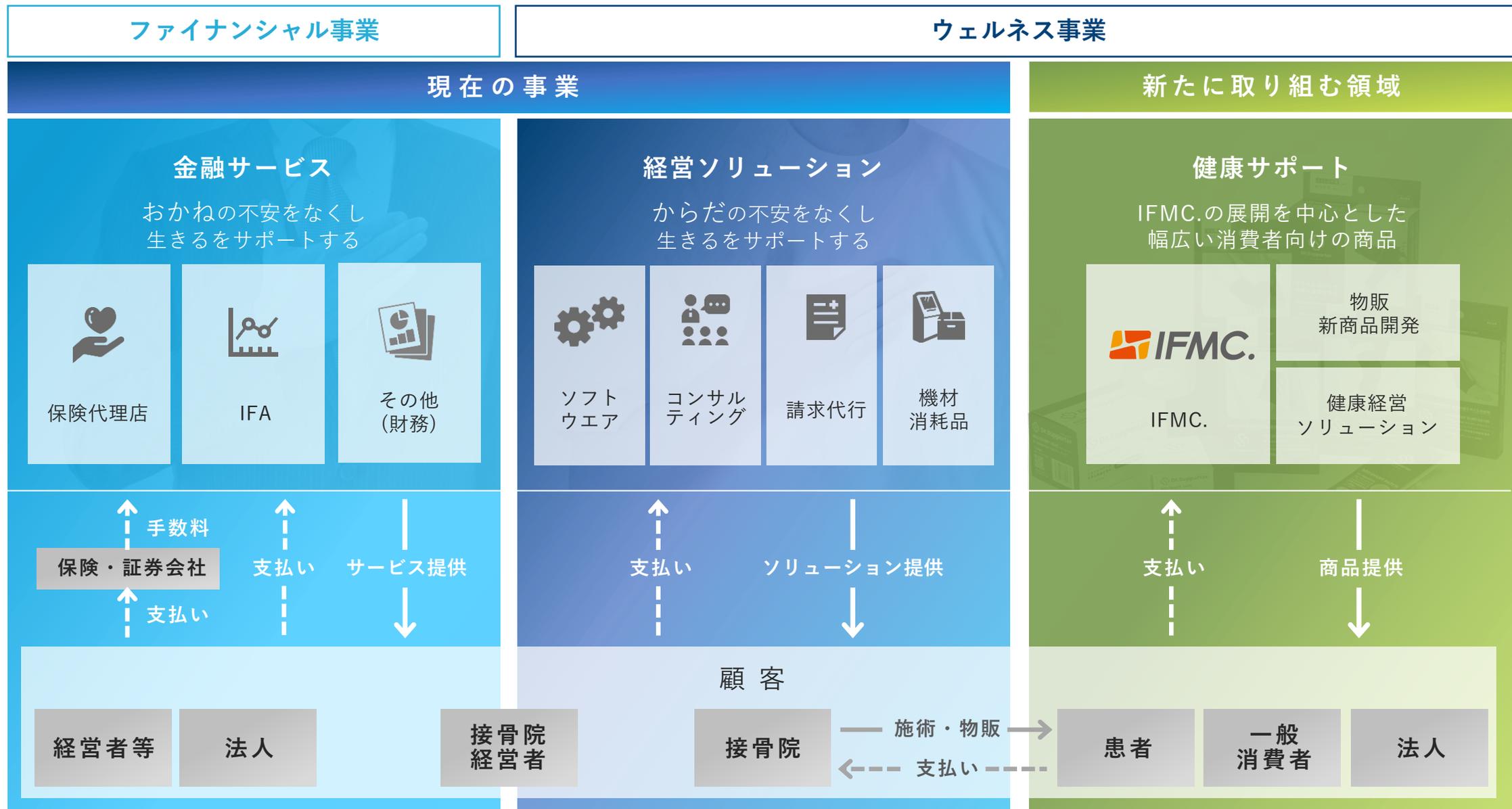
本当に健康である状態とは「からだ」と「おかね」の不安がなく、
心から前向きになることだと私たちは考えます。

リグアグループは、予防医療と金融サービスの提供を事業の柱とし、
「からだ」と「おかね」という人生における2つの大きな“不安”をなくしていくことで、
誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会を実現していきます。

「生きる」をサポートするコンサルティング会社



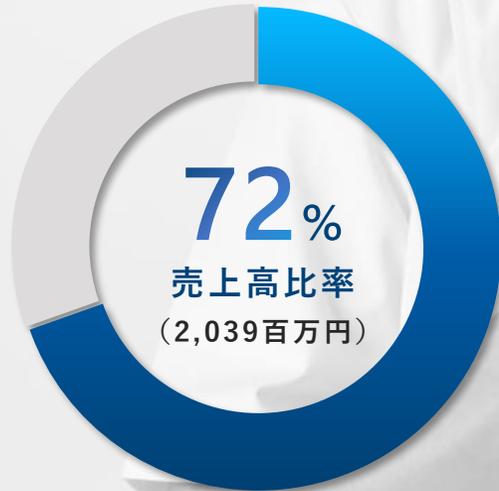
事業系統図



事業内容

IFMC.製品を活用したサービス・コンサルティングを提供するウェルネス事業と生命保険、損害保険、各種金融商品を提案するファイナンシャル事業を展開。

ウェルネス事業



- LIGUA
- HEALTH CARE FIT
- HIGCOONE
- 日本ソフトウェア販売
- IFMC.

からだの不安をなくし、
生きるをサポートする。

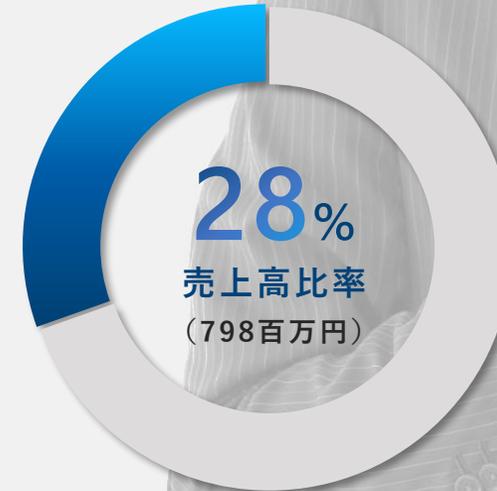
ソフトウェア

機材・消耗品

コンサルティング

請求代行

ファイナンシャル事業



- FP DESIGN

おかねの不安をなくし、
生きるをサポートする。

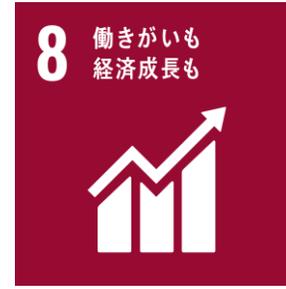
保険代理店

IFA

その他(財務)

リグアグループは、誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会を実現していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



人生から不安をなくし、生きるをサポートする。

- 温泉由来の100%ミネラル『IFMC.（イフミック）』技術を通じて、『世界を健康に変えていく』。
- ヘルスケア業界への支援を通じて、“Wellness Life”が溢れる社会を実現する。
- IFMC.加工を施した『環境芝』の普及を通じて、ヒートアイランド現象等の社会課題の解決に寄与する。
- 社内の取り組み「お米プロジェクト」を通じて、日本の農業支援とグループ従業員に「食の健康」を提供する。



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

IRに関するお問い合わせ <https://ligua.jp/contact/>